

編輯室の内外

人心のゆるみ勝ちな新年早々から本號の編輯に従ひセツセと努め漸くどうか發行日に間に會つた、之れも投稿者各位の深甚な御援助に因ることで感謝に堪へない次第である、そして地方通信は都合に依り三月號に掲載することとした又、「石川縣に於ける道路愛護運動」、「踏切道問答」、「南歐の旅」、「國際道路會議のセメント系舗裝に關する報告に就て」の如き貴重有益なる玉稿を三月號に譲らなければならぬことは甚だ編輯子の遺憾とする所であるも紙面の都合で寔に已むを得ない事である投稿の諸彦並讀者各位の御諒恕を御願する。

第六十七帝國議會も休會明けの會議が開かれた、例に依り總理大臣外務大臣大藏大臣の施政演説があつたが別に新味の見らるゝ處はない開會迄に聲明せられた事を一括して述べられた感がある、之れに對する貴衆兩院議員が例に依つて質問演説をした、だが法學博士美濃部達吉氏が處女演説として人權蹂躪問題をひつぎげて小原法相に其監督責任を問ふ處があつた其趣旨演説振は

サスガにとりなづかれるが斯様な問題は司法權の發動中であるから法相の答辯が隔靴搔痒の感あるを免がれないことは已むを得ない、とにもかくにもこんなことは公判のあつた後が時期を得たものであらう、衆議院では被告の一人三土忠造氏が自ら質問するとのこと之は寧ろ遠慮せられて可然である、事件に對する不平不満は裁判所で述べらるべきもので事前に議員の職權を利用せらるゝことは第三者から見れば慎まらるべきであらう。

昭和十年度の豫算中路政に關する部分は無疵で經過することを祈る事ぢや、臨時議會で政友會が投じた爆彈動議の後始末などは政友會の面目としても、重大な性質のものでない、況んや床次選任に對して確實性を有しない怪文書を基礎として攻撃的質問を爲すが如きは響感するの外はない、またしても政黨末期の泥仕合の感がする。

地方行政刷新の一策として經濟部が設置せられ土木部のなき縣では土木行政は此部に屬することとなつた經濟的見地から見て當然の事であるが路政の進歩發展上一段の効果を視ることを得ば幸甚である、若し夫

れ土木部の設置ある府縣では土木部と經濟部との協調を要する點が少なくないから路政上の經濟的價値の認識を説ることなく協力して其功績を擧ぐことに努むる所がなければならぬことである。

土木疑獄の續發は實に苦々しきことである、情實因縁の纏綿し易い土木事業の當局者は餘程の細心と非常な決意と公私行動の區別と至公至平な心情とを不斷に把持しなければならぬ、司法當局に於ても深甚な注意と慎重な態度と冷靜な判斷と感情や行懸り功名心などに捉はざることに出でられたい、犯罪の確實性ある者に對しては處罰を以て望むべきも犯罪なからしむることに努められたいものぢや。(洩)

定價一部 五十錢
一ヶ年分 金六圓

發行所 東京市麹町區外櫻田町一番地内務省內
社團 電話銀座(57)四二七
法人道路改良會

發行所 東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二
編輯者 小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五六
印刷者 常磐印刷所
奈良直一